

6月中旬発売！ ★ 本年度、最注目 of 句集 ★



四六判 上製 192頁 2860円(税10%)
装幀 水戸部功

池田澄子

句集

月と書く

読売文学賞（詩歌俳句賞）受賞『此処』から3年。
その間、世界中で人が人に逢えなくなつた。
地球上では戦火が広がる。
時に怒り絶望し、時に恥ずかし気に漂いながら、
ありのままの心を映した332句。
口語を駆使した俳句で圧倒的な人気を誇る
俳人・池田澄子の第8句集！

蝶よ川の向こうの蝶は邪魔ですか
夕風や桜を見上げ合えば朋
鷹化して鳩となるなら我は樹に
葉桜の隙間隙間や光は愛
健やかなれ我を朋とす夜の蜘蛛
幸あれよ薔薇の葉裏に棲む虫も
水澄むと書くとワタクシ澄んでしまう
逢いたいと書いてはならぬ月と書く
狭霧隠れの家々人々亡き人々
風の便りと風聞草をこの世かな

池田澄子（いけだ すみこ）

1936（昭和11）年鎌倉生れ。1983年、三橋敏雄に私淑、のち師事。
「面」「未定」「船団」「豈」などに拠り、2020年「トイ」創刊に参加。
句集に『空の庭』（現代俳句協会賞）、『たましいの話』（宗左近俳句
大賞）、『思ってます』、『此処』（読売文学賞・俳句四季大賞）ほか、
著書に『あさがや草紙』、対談集に『兜太百句を読む。』などがある。

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRCより全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。（了解者：JRC 宮尾）

ご注文申込書	貴店名・帳合	注文数	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
		冊	句集 月と書く 池田澄子 著 四六判 / 上製 / 192頁 / 定価：2860円(本体2600+税10%)
	(ご担当者名：)		ISBN978-4-908978-93-7 C0092